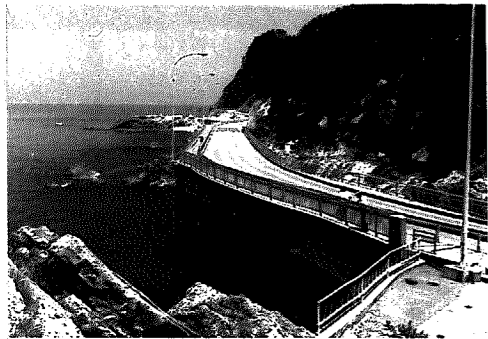
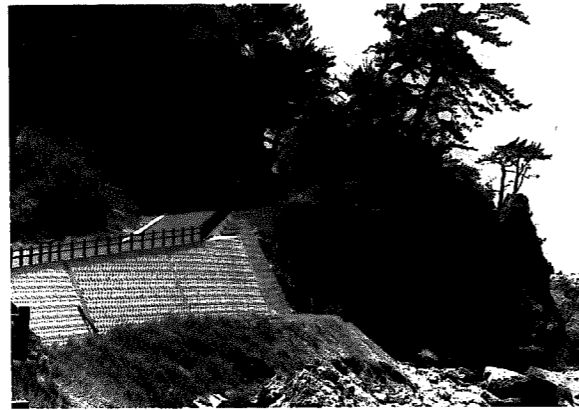


▲東屋(休憩所) 田ノ浦海岸から遊歩道で白岩を過ぎるとある休憩所。あまり知られていないが、見晴らしが抜群な隠れた穴場です。



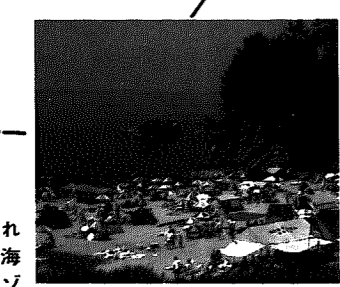
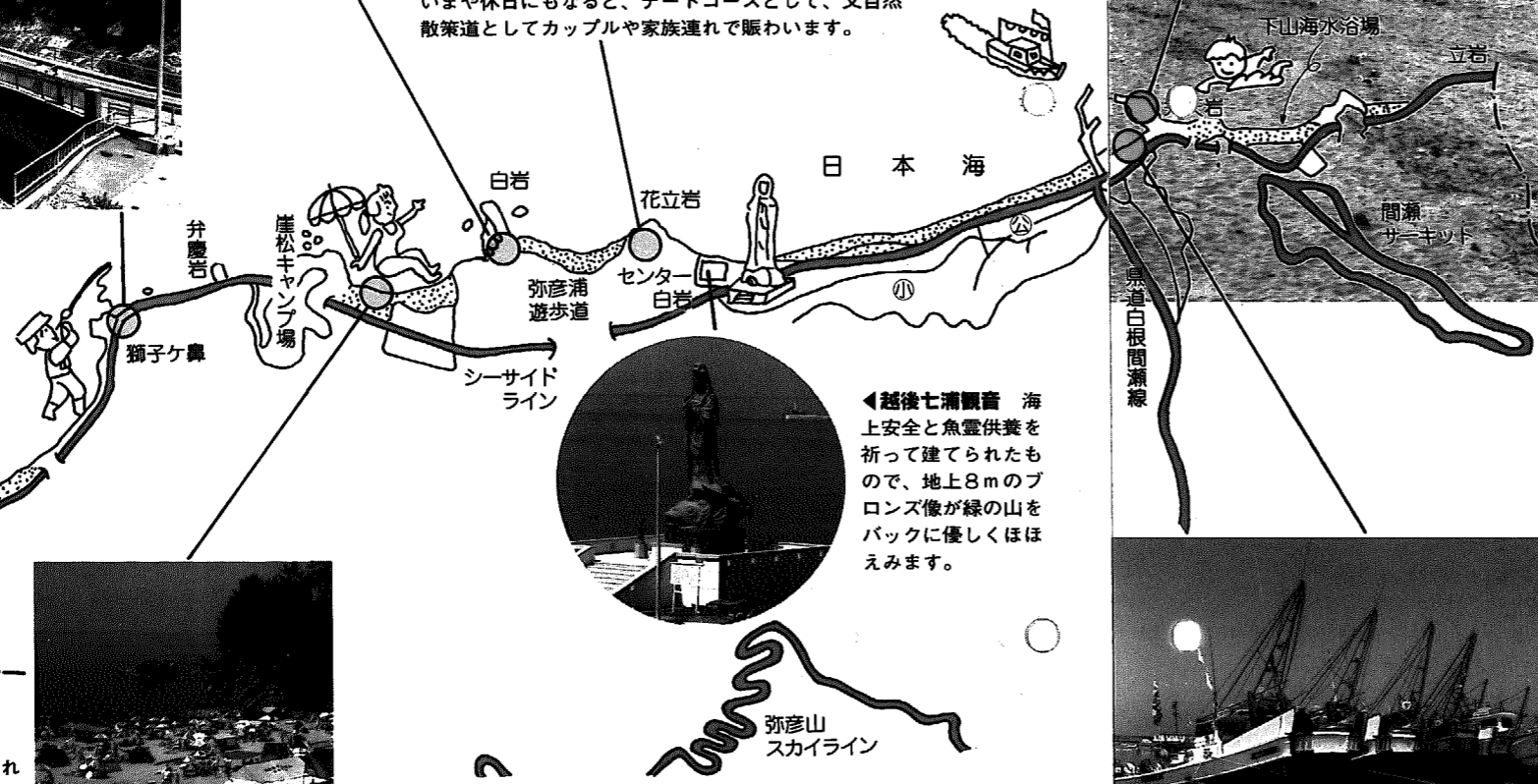
▲獅子ヶ鼻海上橋 日本海と直接友だちになれる海上橋。自然景観がすばらしいドラマチックロードとしていま大人気です。



▲弥彦浦遊歩道 越後七浦観音のある自然休養村管理センター白岩前から始まる遊歩道で、改修工事も進み、いまや休日にもなると、デートコースとして、又自然散策道としてカップルや家族連れで賑わいます。



▲弁天白 海上安全と大漁を祈願する弁天様が祀られた白岩。通称弁天とも呼ばれています。



▶田ノ浦海水浴場 きれいな海が評判な田ノ浦海岸。海プラス温泉のリゾートゾーンとして人気急上昇です。



◀越後七浦観音 海上安全と魚豊供養を祈って建てられたもので、地上8mのブロンズ像が緑の山をバックに優しくほほえみます。

▲下山海水浴場



▲間瀬漁港 現在、第8次修築工事が行われており、漁船・施設整備などの近代化も急ピッチです。

# この夏は、身近かなところが

## おもしろい。

今日から七月、いよいよ夏本番。青い空、白い波、そして緑の山もみんなキミたちのもの。この夏も、身近かな海—間瀬海岸がキミたちを待っている。

きょうから七月。いよいよ夏本番ですね。夏—といえば、なんととっても海が最高。輝く太陽の下で、思いっきり海水浴を楽しもう。そして家族連れで間瀬海岸の自然を味わうのもこの季節です。そこで今号では、みなさんのこの夏のエンジョイプランの一考にしてみよう。身近かな穴場「間瀬海岸」の魅力の一部をご紹介します。

県道白根間瀬線を走り間瀬地区入口付近になると、目の前に日本海が広がってきます。ご存じのとおり、間瀬海岸は間瀬漁港を中心に左右に海岸線が広がり、マリンスポーツや釣り、キャンプなどを楽し

むのには、もってこいの自然環境です。海水浴場は、間瀬(下山)海水浴場と田ノ浦海水浴場の二つの指定海水浴場があり、ともに越後七浦シーサイドライン沿いとあって夏本番ともなると、どの海水浴場もレジャー客で満杯の盛況です。ぜひ、ここの夏はみなさんも間瀬海水浴場で「海」をもっと楽しんでみませんか。

ところで、間瀬海岸といえば太公望とって海釣りのメッカとして有名ですね。とくにこの七月から八月にかけては、白キスをはじめいろんな釣果が期待できます。太公望はもちろんのこと、初めてのかたでも十分楽しめることうけあい。みなさんいかがですか。楽しみながら、釣果によっては夕飯のおかず!?!として一石二鳥なマリンスポット—間瀬海岸へ、ご家族揃ってでかけましょう。

それに間瀬海岸といえば忘れてはならない海岸線の美しさ。佐渡弥彦米山国定公園の中でも随一の景観を誇り、その奇岩・怪石群には、自然の神秘さえ感じられます。

そこで、以前にも広報いわむろでこの間瀬海岸の奇岩・怪石についてはご紹介しましたが、残念ながら見逃したかた、新しく村民になられたかたたちのために再度ご紹介しよう。

それでは、間瀬海岸奇岩・怪石ウォッチングに出かけましょう。まず最初は、シーサイドラインを巻町方向に走ると海中にそそり立つ岩が目を引きまします。これが立岩(P4)といわれ

